



TITLE:

編集後記・購読要項・投稿内規

AUTHOR(S):

---

CITATION:

編集後記・購読要項・投稿内規. 泌尿器科紀要 1963, 9(2): 114-114

ISSUE DATE:

1963-02

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/112405>

RIGHT:

## 編 集 後 記

泌尿器科ニ関係ノアル科目ハ種々アルガ 特ニ密接ナ関係ノアルノハ 外科デアル。ソレデ泌尿器科ト外科トノ関係ニ就イテ考エテミヨウ。先ズ泌科ノ性格デアルガ 広義ニ解釈スルト 泌尿器ト男子性器ノ全テノ疾患ヲ対象トスル。所謂 内科的又ハ外科的疾患ノ如何ヲ問ワズ 狭義ニハ 主ニ外科的疾患ヲ対象トスル。即チ外科ノ一分科デアリ 泌尿器外科ノ名称ニ値スルトノ考エデアル。コノ兩者ノ考エ方ニハ夫々道理ガアル。實際ニ 膀胱炎 性障害 神経障害 ソノ他 普通ニハ外科的疾患ト考エラレテイナイ多クノ疾患ヲ対象トシテイル点カラ云エバ 広義ニ考エラレルシ 又 事実上ハ 手術的治療法ガ多ク行ワレル点カラ云エバ 狭義ニモ考エラレル。ヤハリ 本當ノトコロハ 腎炎 ネフローゼ等ハ大体ニ取扱ワナイガ 泌尿・男性器ヲ広ク対象トスル専門科目デアロウ 従ツテ コノ領域ノ疾患ハ 泌尿器科ニテ取扱 ウノガ本當デアル。泌科ガ判然ト独立シテイナカツタ時代ニ於テハ 外科ニテ片手間ニ扱ワレタガ 現在ニテハ殊ニ大学病院トカ綜合病院ニ於テハ 泌科領域ノ患者ハ泌科ニ送ツテホシイ。泌科ノ設備ノナイ場合ニモ 何ラカノ方法ヲ講ジテ 泌科ノ診療ヲ受ケルヨウニシテホシイ。現今ノ泌科ハ 昔ト異ナリ 診断法 治療法ニ於テ大イニ進歩シ 専門的ノ修練ヲ経タ者デナケレバ 妥当ナル診療ハ不可能ニナツテイル。然シ外科ノ方ニモ云イ分ガアルカモ知レヌ 外科医トシテハ一応広イ分野ニ亙ツテ修業シテオカネバナラス。ソレモ尤モナヨウデハアルガ モンソウナラバ 外科医ハ 脳 肺 心 整形 産婦人科 耳科等ノ外科的診療ニモ通ジテイナケレバナラス寡ニナル ソレハ不可能デアロウ。若シ可能トスレバ 極メテ浅薄ナ知識ト技能トニナリ 責任アル診療ハ到底無理デアル。従ツテ 現代ニ於テハ 一般外科ニ於テ泌科ノ診療ヲ行ウ事ハ 責任アル態度トハ云エナイ。緊急止ムヲ得ザル場合ハ別トシテモ ソレ以外ノ場合ニハ 医道ノ上カラモ正シイトハ云ワレナイ。殊ニ泌科ノ設備ノアル大病院ニテハ然リ。

大学病院ヤ綜合病院ニテ泌科ガ独立シテ盛大ニナルタメニハ 泌科志望ノ医師ガ多クナラネバナラス 又 泌科トシテハ専門医制度ヲ作ル事ガ必要デアル 日本泌尿器科学会トシテモ 今後ハコノ方向ニ強力ニ進ミタイモノデアル(昭和38年1月)

大学教官モ含メテノ勤務医師ノ待遇ヲ上ゲル必要ノアル事ヲ 私ハ常ニ主張シテイルノデアルガ 先日ノ新聞ニヨルト 池田首相ガ大学教官ノ待遇ヲ改善スル必要ガアルト云ツタノニ對シテ某役人ガ 大学教授ノ俸給ヲ上ゲルト 次官ヨリ上ニナルカラ困ルト云イ 首相モ ソウカト云ツテ ソレキリニナツタ由デアル。アキレタ話ダ。大学教授ノ俸給ガ次官ヨリ上ニナツテハ何故ワルイノカ。全部ノ大学教授ヲ次官ヨリ上ニスルノデハナクテ 幅ヲ作レバヨイノデアル。首相ガ大学教官ノ待遇ニ意ヲ用イタノハヨイガ コレモ大学教授ハ次官ヨリ下デアルト思ツテイルラシイ。役人ト云イ 首相ト云イ コレデ 教育 科学ノ尊重 人ヅクリト云エルカ

国立大学長ノ俸給ハ平均13~14万デアルガ コレヲ認証官ニシテ16~18万ニシヨウトノ案ガ伝エラレル。トコロガ国会議員ハ普通ノ月ニハ27万余 国会開会中ハ32万ニ引キ上ゲヨウトノ案ガ 一人ノ反対モナシニ決ツタトノ事デアル。選挙トナレバ棄権セズニ投票セヨト云ウガ 折角投票シテモ 當選シタ議員ガコレデハ 議員ヲ選ブト云ウ事ハ ドウ云ウ事ニナルノカ判ラヌ投票スル意欲ガナクナツテモ致シ方ナイノデハナイカ。唯 俸給ダケノ事ヲ云ツテイルノデハナイ ソノ心根ヲ情ケナイト思フノデアル。コノ議案ヲ 反対セズニ通シタ議員ハ 党籍ノ如何ニ拘ラズ 尊敬スル事ガ出来ナイ



旧帝大ノ国立大学長ヲ認証官ニシヨウトノ政府案ガ伝エラレタ時ニ ドノ大学長カラモ 何ラノ意見ガ出サレズニ 沈黙 承認ノヨウナ印象ヲ与エタノハ 何ダカ不透明ノ感じガシタ 然シソノ制度ガ全クワルイトモ云エナイデ 必ズシモ直チニ反対セネバナラス事モナイ。唯 ソノ意図ガ奈辺ニアルカニヨツテ 問題ヲ含ンデイルヨウダ コレニヨツテ政府ノ威力ヲ誇示シ 学長ニ一種ノ束縛ヲ加エヨウトノ底意ガアツテハ困ルシ 形式主義モ賛成出来ナイ 学長ヲ優遇シヨウトスルナラバ モット他ノ方法デ行エバヨイ 国会議員ハ32万 大学長ハ16~18万デハ 優遇ニモナラス ソノ後 京大平沢総長ハ 学生トノ問答ニ於テ 認証官制ハ個人トシテハ反対ダトノ意向ヲ明カニシタ(昭和38年2月)。

印刷所ノ手違イニヨツテ 12月号ノ編集後記ガ1月号ニ再掲セラレタノデ ココニハ1月ト2月ノ2カ月分ヲ掲載シタ